
平成 2 1 年 第5回臨時会

上富良野町議会同議録

平成 2 1 年 1 1 月 4 日

上富良野町議会

目 次

第 1 号 (1 1 月 4 日)

○議 事 日 程	1
○出 席 議 員	1
○欠 席 議 員	1
○遅 参 議 員	1
○早 退 議 員	1
○地方自治法第 1 2 1 条による説明員の職氏名	1
○議会事務局出席職員	1
○開 会 宣 告	2
○開 議 宣 告	2
○議会運営等諸般の報告	2
○日程第 1 会議録署名議員の指名の件	2
○日程第 2 会期決定の件	2
○日程第 3 議案第 1 号	2
○閉 会 宣 告	5

平成 2 1 年 第 5 回 臨時会

上富良野町議会会議録（第 1 号）

平成 2 1 年 1 1 月 4 日（水曜日）

○議事日程(第1号)

- 第 1 会議録署名議員の指名の件
第 2 会期決定の件 11月4日 1日間
第 3 議案第1号 平成21年度上富良野町一般会計補正予算(第5号)
-

○出席議員(14名)

1番	岡本康裕君	2番	村上和子君
3番	岩田浩志君	4番	谷 忠君
5番	米沢義英君	6番	今村辰義君
7番	一色美秀君	8番	岩崎治男君
9番	中村有秀君	10番	和田昭彦君
11番	渡部洋己君	12番	佐川典子君
13番	長谷川徳行君	14番	西村昭教君

○欠席議員(0名)

○遅参議員(0名)

○早退議員(0名)

○地方自治法第121条による説明員の職氏名

町 長	向山富夫君	副 町 長	田浦孝道君
会 計 管 理 者	新井久己君	総 務 課 長	服部久和君
保 健 福 祉 課 長	岡崎光良君	健康づくり担当課長	岡崎智子君

○議会事務局出席職員

局 長	中田繁利君	主 査	深山 悟君
主 査	遊佐早苗君		

午前10時30分 開会
(出席議員 14名)

開会宣告

議長(西村昭教君) 御出席まことに御苦労に存じます。ただいまの出席議員は14名でございます。これより平成21年第5回上富良野町議会臨時会を開会いたします。

開議宣告・議会運営等諸般の報告

議長(西村昭教君) 直ちに、本日の会議を開きます。本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付のとおりであります。

議長(西村昭教君) 日程に入るに先立ち、議会運営等諸般の報告をいたします。

事務局長。

事務局長(中田繁利君) 御報告申し上げます。今臨時会は、10月30日に告示され、同日議案等の配付をいたしました。今臨時会の会期、日程等その内容は、お手元に配付の議事日程のとおりであります。今臨時会に提出の案件は、町長から提出の議案第1号の1件であります。今臨時会の議案説明のため、町長以下関係者の出席を求め、別紙配付のとおり出席いたしております。以上です

議長(西村昭教君) 以上をもって議会運営等諸般の報告を終わります。

日程第1 会議録署名議員の指名の件

議長(西村昭教君) 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、議長において、

5番 米 沢 義 英 君

6番 今 村 辰 義 君

を指名いたします。

日程第2 会期決定の件

議長(西村昭教君) 日程第2 会期決定の件を議題といたします。お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(西村昭教君) 御異議なしと認めます。よって、

会期は、本日1日間と決しました。

日程第3 議案第1号

議長(西村昭教君) 日程第3 議案第1号平成21年度上富良野町一般会計補正予算(第5号)の件を議題といたします。提出者から提案理由の説明を求めます。総務課長。

総務課長(服部久和君) ただいま上程いただきました議案第1号平成21年度上富良野町一般会計補正予算(第5号)の提案要旨について、御説明申し上げます。

1点目は、経済危機対策の一環として、国の補正予算において全額国費負担で実施が予定されていた子育て応援特別手当についてですが、新政権における補正予算の見直しの中で、当該事業にかかる国の予算執行が停止されたことから、本町においては、予定していた320名分の同手当の給付事業について、実施を見合わせることにするため、歳入歳出それぞれ所要額の減額補正をお願いするものであります。

2点目は、感染力が強く大多数の国民に免疫がない新型インフルエンザによる死亡や重症化を防ぐため、ワクチン接種にかかる費用負担軽減事業の実施にあたり、予算措置をお願いするものであります。

事業の概要は、基礎疾患を有する方や子どもまた高齢者など、新型インフルエンザワクチンの優先接種対象者で、生活保護世帯または町民税非課税世帯の方を対象に、ワクチン接種費用の全額6,150円を助成するものであります。

本町の助成対象者、概ね1,500人から既にインフルエンザA型への感染が確認された方100名を除く1,400人分のワクチン接種費用に、住民周知のための事務経費を加え、事業費総額865万円を計上させていただきました。

なお、助成費用の財源については、国2分の1、北海道4分の1の補助を受け、町の負担分については、予備費から一定額を充用することで補正予算を調整したところであります。

それでは、以下議案の説明につきましては、議決項目の部分につきまして説明し、予算の事項別明細書につきましては、省略させていただきますので御了承願います。

議案第1号平成21年度上富良野町一般会計補正予算(第5号)。

平成21年度上富良野町の一般会計の補正予算(第5号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ6

32万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億8,511万8,000円とする。

2、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

1ページをお開きください。

第1表につきましては、款ごとの名称と補正額のみ申し上げます。

第1表、歳入歳出予算補正。

1、歳入。

14款国庫支出金847万7,000円の減。

15款道支出金215万2,000円。

歳入合計が632万5,000円の減となります。

2、歳出。

3款民生費1,271万6,000円の減。

4款衛生費865万円。

14款予備費225万9,000円の減。

歳出合計が632万5,000円の減となります。

以上、議案第1号平成21年度上富良野町一般会計補正予算(第5号)の説明いたします。御審議いただきまして、御承認くださいますようお願い申し上げます。

議長(西村昭教君) これをもって、提案理由の説明を終わります。これより質疑に入ります。

議長(西村昭教君) 2番、村上和子君。

2番(村上和子君) 新型インフルエンザの件でございますけれども、平成21年度、国の補正予算で出された経済危機対策でくる交付金の中に、この新型インフルエンザ予防対策も入れておけば交付金としてきて、今回のように実費で、低所得者と生活保護者は減免でございますけれども、実費6,150円を出してワクチン接種しなければならぬことに、そういうことにならなかったのではないかと考えるわけですけれども、その時点では予防事業は入っていなかったようなことをおっしゃっていましたが、いま、小中学生が半分以上がもうインフルエンザにかかっている状況でございます。そして、いま風邪にかかりましても検査もしない状況で、これはちょっと上富良野のほうでということとなっておりますし、せめて子供たちには軽減するような、そういう形、取れないものかどうか、ちょっとお尋ねしたいと思います。

議長(西村昭教君) 健康づくり担当課長、答弁。

健康づくり担当課長(岡崎智子君) 経済危機対策の交付金に関しましては、ワクチン接種費用は国のほうでも当初から含まれていなかったということで、ワクチン接種費用が対象メニューに入っていないということで御理解いただきたいと思っております。

議長(西村昭教君) 2番、村上和子君。

2番(村上和子君) 6月の段階でも課長会議とかやられていると思うんですけども、その時点でこの新型インフルエンザの件も上がったと思うんですけども、いま、1,400人を見ておりますけれども、どうでしょうか。やっぱり半分以上、小学生中学生がかかっている現状がありまして、この1,400人というのはどうでしょうかね、ちょっとお尋ねしたいと思います。受けましてくれませんか。

議長(西村昭教君) 健康づくり担当課長、答弁。

健康づくり担当課長(岡崎智子君) 今回の1,400人の人数の積算の根拠についてお話をさせていただきます。今回の新型インフルエンザワクチン接種に関しましては、妊婦、基礎疾患を有する方、小児1歳から就学前まで、あと低学年、そして1歳未満の子供さんにつきましては免疫がつかないということで、その1歳未満の子供さんの御両親、小学生高学年、中学生、高校生、そして、65歳以上の方という方が新型インフルエンザのワクチン接種の優先接種対象者としてなっております。その方たちの中で生活保護、市町村住民税非課税世帯に属する方たちの対象数を出しましたところ、1,500人の方が対象になっている状況にあります。小学校1年生から中学生に関しましては、もう51%の子供さんが感染されているという状況にありますけれども、その方たちを、感染をされているだろう方たちを抜いた小学生に関しましては、助成対象にするというふうに考えております。

議長(西村昭教君) よろしいですか。ほかにございませんか。

議長(西村昭教君) 5番、米沢義英君。

5番(米沢義英君) 今回の補正の中で何点が質問させていただきます。基礎疾患がなくても、やはりインフルエンザが重症化する、あるいは重症化する傾向にあるということが報道されております。上富良野町において、国においても補助対象の範囲が非常に狭いというふうに私は感じておりますが、こういった部分のやはり町としては拡充というのは考えられなかったのかという点です。また同時に全額補助でなくても、やはり半額補助という対象にして、小中学生せめてもそういった部分は対象にするということが求められているのではないかと。他の自治体においても受診を促すという点においても、補助する自治体、補助しない自治体に分かれていますけれども、上富良野町においてもこれだけのかなりの子供さんたちがこういう新型のインフルエンザにかかるという状況を見た場合にその対応が当然必要だったのではないかとと思いますが、この点はいかが、考

えておられるのかお伺いいたします。

2つめには、国保関係で資格証明書が発行されている世帯があるかなと思います。子供さんがいる世帯あるいは大人にいたっても、そういう世帯の方が受診したくても受診が受けられないというのでは困りますので、その実態等を調べてそういう世帯が仮に該当するということであれば、速やかにこういった者に対する接種を、速やかに受けられるような体制づくりをすべきだということに思います。この点、どうお考えなのかお伺いいたします。

3つ目にはワクチンの確保という点ではありますが、こないだの話ではこの国の示す対象の1,500人のうち500人程度が今月中に受けられるのではないかという話ではありましたと思うんですが、それ以降のワクチンの確保というのはどうなっているのか、当然製造が間に合わなければ、あるいは輸入が間に合わなければ受けられないという形であると思いますが、今後のワクチンの確保の関係でどういう状況になるのか、この点についてもお伺いしておきたいというふうに思います。

4つ目には上富良野町において、こういった新型インフルエンザにかかって重症化されているケースというのはあるのかどうなのか、その実態を調べていらっしゃれば御答弁願いたいと思います。

議長（西村昭教君） 健康づくり担当課長、答弁。

健康づくり担当課長（岡崎智子君） 米沢議員の御質問にお答えいたします。

1点目の補助対象の拡大に関してのお話ですが、町としましては今回の新型インフルエンザワクチンに関しましては、任意接種であるということから、個人の重症化予防を図るという観点で、受けたい方が費用の面で受けられない条件だけは作らないことで考えております。ということで対象を、個人が受けれる環境を整えるという立場で組み立てをさせていただいております。

2点目の資格証明に関しましてですが、今回、全戸配布を新聞折込等で計画しておりますけれども、7月3日付で65歳以上の方に関しましては、介護保険の保険料の額の決定通知書等が皆さんのところで送られています。その方たちに関しましては、その保険料の所得階層区分を使うことで資格証明をその様式でも使える。また、国保等の減額の証明書等も使えるというような形で、様々な証明の仕方を考えております。それに該当しない方につきましては、町のほうで助成証明書を出したいと考えております。対象者に関しましては、あらゆる場所の新聞折込や広報、防災無線以外にも教育委員会や子育て支援班などの連携も行いまして、きっちりと

皆さんのほうに伝わるような形を考えていきたいと思っております。

3点目のワクチンの確保につきましてですが、現在のところ、やはりワクチンが潤沢にきている状況にはありません。道のほうからの文書につきましても、現在のところ基礎疾患に関しましては3割程度、妊婦に関しては2割程度のワクチンということで、やはりワクチンが潤沢に入るにはもう少し期間がかかるという状況になっております。その状況につきましては、随時お知らせしていきたいと思っております。

4点目の重症化を起した方についてですが、現在のところ町の中で重症化によりまして、人工呼吸器を付けられたとか、そういうような方については保健所のほうに問い合わせをしておりますけれども、いらっしゃいません。以上です。

議長（西村昭教君） 5番、米沢義英君。

5番（米沢義英君） そういう資格証明書の提示と同時に国保関係の短期証明書、いわゆる納税しないという形、何らかの要因で証明書を出されている方、こういう方についても受けられる対象になるということで理解してよろしいですか。いわゆる受診をお金を持ってこないから、後で払うとか何とかという形で、やっぱり受けづらい方がいるのかなという形で判断するものですから、その点はどういうふうになるのかという点です。

それともう一つ、補助の問題ですが、あくまでもこれは非課税世帯ですとか疾患のある方を対象としているわけで、いわゆるそれ以外の方はどうなるのかという問題が依然として残るわけで、そこら辺というのは、やはり補助対象にすべき、子供さん中心にすべき時期にあると思います。他の町村から見ても上富良野町は非常に多いという、この事例を見ても、やはり子供、小中学生も含めて、一定の補助策というのが、この予算の中には組み込まれていないはずなので、その点はどうだったのかということをもう一度、明確に答弁願いたいと思います。

議長（西村昭教君） 健康づくり担当課長、答弁。

健康づくり担当課長（岡崎智子君） 1点目の資格証明につきましてですが、今回のワクチン接種に関しましては、保険証の提示は必須になっておりませんので、あくまでも予防接種として接種を受けていただくという仕組みになっております。

2点目の補助対象の拡大に関しましてですが、先ほども説明させていただきましたけれども、今回の予防接種に関しましては、個人が重症化を予防するという視点で任意接種となっております。それに準じまして町としましては、その任意接種を受ける環境条件が整わない世帯の方に対して、町がきちんと環境を整えるという

立場で考えております。以上です。

議長（西村昭教君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり。）

議長（西村昭教君） なければ、これをもって質疑を終了いたします。討論を省略し、これより議案第1号を採決いたします。本件は、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり。）

議長（西村昭教君） 御異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

議長（西村昭教君） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議は、全部終了いたしました。

閉会宣告

議長（西村昭教君） これにて、平成21年第5回上富良野町議会臨時会を閉会いたします。

午前10時50分 閉会

上記会議の経過は、議会事務局の調製したものであるが、その内容の正確なる事を証するため、ここに署名する。

平成 2 1 年 1 1 月 4 日

上富良野町議会議長 西 村 昭 教

署 名 議 員 米 沢 義 英

署 名 議 員 今 村 辰 義